



大分県議会議員 2026年 夏号

県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町12番18号 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

別府市では住所表示の変更が進められており、事務所の場所はそのままですが、荘園町12番18号へと表示が変わりました。

エネルギー高騰対策など75億円の補正予算

～大分県議会2026年第2回定例会行われる～

6月11日(木)から26日(金)にかけて大分県議会2026年第2回定例会が開催されました。

今定例会では、エネルギー価格の高騰対策を盛り込んだ75億9,696万4千円の本年度一般会計補正予算案が審議されました。一般会計予算の累計は7,376億5,496万4千円で過去最高となっています。



国の交付金を活用し、中東情勢の影響を受ける事業者や一般家庭への支援を進めるとして、LPガスを利用する家庭全戸に対し1契約当たり580円を助成します。社会福祉施設や農林水産業者などには、LED照明や空調など省エネルギー設備の導入経費を補助します。

また、中小企業の資金繰り対策として、物価高騰などに対応した保証料率ゼロの制度資金の融資枠を100億円から200億円に拡大。自家消費型の太陽光発電や蓄電池などの導入も支援します。財源のうち40億円余りは国の重点支援地方交付金となっています。

このほか、県全域で予定している宿泊税の導入条例案【会報の2面に詳細を掲載】や宿泊税に対応したレジシステム改修への助成やコールセンター設置などの事業費。大分市にある大分スポーツ公園のドームの屋根を26億3,120万円で改修する工事請負契約の締結。田能村竹田の重要文化財の絵画を1億800万円で購入する議案なども審議され、閉会日に全て可決されました。

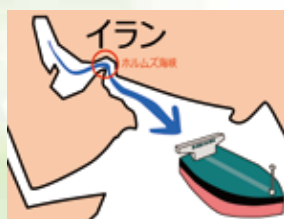
混沌とする国際情勢の影響で物価高騰、石油関連製品の品不足

世界各地で戦火が止みません。2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻はいまだに解決の糸口が見えません。ハマスとイスラエルの軍事衝突では、一般市民を含む多くの人々が犠牲になっています。

2026年2月には米軍とイスラエル軍がイランへの攻撃を開始しました。停戦交渉は行われているものの、先行きが不透明な状況が続いています。

大国が「国際法」より「国益確保」を進めていく姿が浮き彫りになっており、国際秩序の崩壊が起きつつあると言えるのではないのでしょうか。

中東情勢の悪化は原油価格の高騰を招き、原油を原料とする石油化学基礎原料ナフサの品不足がプラスチック製品、建材、衣料品、医療用品などの製造コスト上昇を引き起こしています。



ガソリン価格や電気代の高騰は私たちの生活を、船舶の燃料である重油高騰は漁業生産を、ハウスの暖房費高騰は農業生産を直撃し、生活用品や食料品などありとあらゆるものの価格が上昇しています。

世界の紛争が私たちの生活に大きな影響を及ぼす現実をあらためて感じます。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。